



# Nihongo Network News

2001.10.5発行

No. 33

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク（連絡協議会）として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993年12月に結成されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由を感じている外国人などを隣人として支援しています。

TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1メールボックスNo.4

東京ボランティア・市民活動センター気付 ☎03-3235-1171

## 日本語教育支援総合 ネットワーク・システム

8月7日に虎ノ門ホールで開催された「文化庁日本語教育大会」において、日本語教育支援総合ネットワーク・システムの紹介と説明がありました。日本語学習者の増加や多様な学習目的に対応するため、国内外の日本語教育機関が連携・協力して総合的なネットワーク・システムを構築することで、日本語学習支援の環境を整備することが目的。このシス

テムを利用することで、簡単な手続きで必要な情報や素材をどこからでも入手・利用できるようになることを目指しています。

このネットワーク・システムのURLアドレスは

<http://www.kokken.go.jp/nihongo> または

<http://www.bunka.go.jp/nihongo>

このページでは、日本語教育の行事、

教員募集、調査研究、日本語教材、日本語教育機関・教員養成機関などの情報、日本語教育関係者・日本語教育関連の統計などの情報が検索でき、会員登録（無料）をすれば教材用素材を利用することができます。教材用素材は、著作権の問題などで難しい問題もあったようですが、映画や小説などの素材も利用できるようになったとのこと。

このネットワーク・システムが日本語ボランティア活動にどのように生かせるかは、まだ未知数ですが、ボランティア日本語教室にコンピュータが普及し、このネットワーク・システムが充実すれば、教材で苦勞しているボランティアの負担も少しは軽くなり、学習者と楽しく学習できるのではないかと期待されます。

## TNVN 日本語ボランティア入門講習会 羽村市へ行く

7月11日から8月1日まで全4回、財団法人羽村ふれあい地域づくり公社の委託により、TNVN出前講座が羽村市コミュニティセンターで開催されました。羽村市は、人口の2.3%強の外国籍住民がいますが、「外国人にも住みやすい共生のまちづくりを考える」シンポジウムを開催するなど、積極的に外国籍住民と関

わろうとしています。この講習会も日本語ボランティアとして、外国の方々と交流・支援をしようとする人たちを新たに掘り起こすことを目的に実施されました。

TNVNからは毎月開催されている日本語ボランティア入門講習会にかかわるスタッフ5人が交代でスピーカーを務めました。内容は主催者側からの希望もあ

り、以下のようになりました。

- 第1回 日本語ボランティアをはじめよう
- 第2回 日本語再発見
- 第3回 どのように支援しているか
- 第4回 日本語学習支援のヒント

TNVNでは、ご要望に応じてこのような出前講座を各地で企画・提供しています。お問合せは事務局までどうぞ。

# データに見る ボランティア日本語教室 PART 5 / 活動の経費

## 「ボランティア日本語教室ガイド 東京 2000」 アンケートから

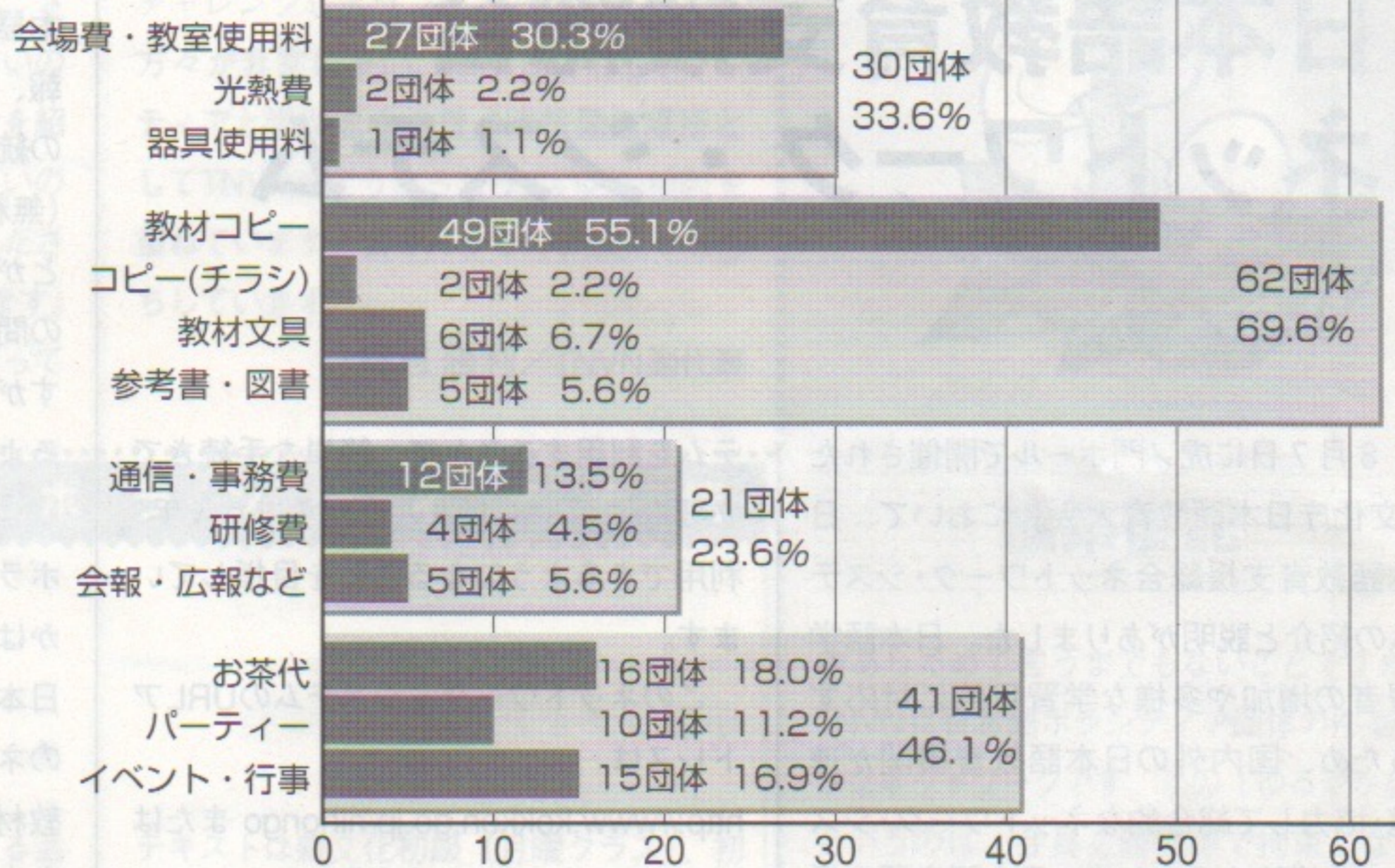
### アンケートの集計状況

◆回答数/団体数：137 教室数：157

TNVNでは、昨年発行した「ボランティア日本語教室 東京 2000」のために都内全域のボランティア日本語教室に対してアンケート調査を実施。TNVN会員団体だけでなく、東京23区・20市(当時)の137団体・157教室から回答を得ることができました。ここでは「ボランティア日本語教室ガイド」に掲載されている活動情報以外のデータをご紹介します。

### 経費の用途

回答は複数回答となっていますが、やはり教材・コピー等教材関係への支出が約70%、次にお茶代・パーティ・イベントなど交流関係の支出が約半分と大きな比率を占めています。ほかにも、会場費など会の運営に関わる費用の支出を余儀なくされている団体が全体の1/3にのぼっています。



### 講師料の支給

区分	団体数
なし	105
¥300~500/回	2
¥1,000~2,000/回	3
¥600~2,500/夜間1時間	2
¥11,000/講師1回(ボランティアなし)	2
アドバイザー1名¥20,000/年(ボランティアなし)	1
集中講座講師(有資格者)に支給	1
(計)	116

学習支援者の講師料については、回答団体のうち90%以上の団体で支払っておらず、現状では無償ボランティアが主流となっていることがわかります。

### 学習支援者の交通費

区分	団体数
なし	89
実費	13
¥300~700/回	5
実費(上限¥2,500/月)	1
¥1,000~2,000/月	1
実費の半額を支給	1
講師料に含む	1
補助有り	1
行政機関等への用務のみ支給	1
(計)	113

学習支援者の交通費についても回答団体の80%近くの団体が支給なしで、ボランティアの自己負担となっています。また支払っている団体のなかでも、交通費の全額を負担しているのは全体の11.5%で、交通費の一部を負担という団体が多いようです。



ボランティア日本語教室での学習は、日本語学校と違って学習者のニーズもさまざま。そのため既存のテキストや教授法通りにはいかないことも多く、学習者に合わせた工夫も必要です。

ここでは、日本語学習者を支援するときに、役立つ教材、理解を早めたアイデア、上達を助けるコツなど、ボランティアの経験から生まれた工夫やアイデアをご提案します。

ボランティアからの提案

## 地震防災に関する学習

甲斐 武子 / 日本語ボランティア ともだち (足立区)

この季節は各地で防災訓練が行われたり、スーパーなどで防災用品の特集販売をするところもあり、防災の学習にはよい機会だと思います。災害に関する情報は日本語で伝えられ、しかも普段使われない言葉が多く、TVの速報にも漢字が使われています。地震のない国から来た人や日

本の暮らしに慣れていない人は不安が大きいことでしょう。

日常生活に対する支援も日本語ボランティアの大きな役目であり、いつ起こるかわからない災害に対する学習は初心者にも必要なことだと思います。学習者のレベルに応じて、一度はこのような学習をもちたいものです。

### 地震について

#### ①フリートキングをする。

地震を知っていますか  
何がゆれますか  
地震がおきたらどうなりますか

#### ②その後、次の事を説明する。

地震は突然おきる (いつも気にしている必要はないことを伝える)  
揺れる (ガラスびん・家具・電気のひもなど)  
倒れる (家具・食器・建物など)  
落ちる (壁・ガラス・棚の上の物など)  
止まる (電車・ガス・水道・電話・エレベーターなど)  
火事になる

#### ③次の言葉の説明をし、漢字を教える。

速報・震度・震源地・余震・津波・警報・避難場所など

### 地震時の対応

#### ①フリートキングをする。

揺れがはげしい時どうしますか、など

#### ②その後、次の事を説明する。

止める (ガスの元栓・電気・水道・ストーブ消す)  
ドアを開ける (出口確保)  
机やテーブルの下に入る (身の安全確保)  
道路では塀や外壁から離れる (ビルがあれば中に避難する)  
デパート・劇場 (エレベーターは使わない・係員の指示に従う)  
エレベーター (各階のボタンを押し、停止した階で降りる)  
電車・地下鉄 (乗務員の指示に従う)

### 倒壊・火災時の対応

#### ①次の言葉を覚えさせる。

危ない・逃げろ・助けて・火事だ、など

#### ②あわせて「110番」「119番」「171番」

(災害用伝言ダイヤル) を教える。

### 災害時のための準備

#### ①防災用品の広告 (チラシ) などを使

用して説明するとよい。

非常持ち出し袋  
(非常食・水・懐中電灯・ラジオ・薬・携帯電話・タオルなど)

貴重品  
(パスポート・外国人登録証・お金・通帳・保険証・電話番号帳など)

#### ②転倒防止についても説明する。

その他 (スリッパ=割れたガラスによる怪我防止)

#### ③地域の避難場所について説明する。

(避難場所の位置、そこまでの道順など、なるべくくわしく説明する)

実際に、外国人が「火事だ」という日本語を知らなかったために被害が拡大して、死傷者まででってしまったという例もありました。そのような被害を防ぐためにも、いざというときに備えて、日頃から災害時に必要な語彙や対応について学習しておきましょう。



## 楽しく、しっかり!

### 西大井日本語サークル

加畑 裕美子 (品川区)



NJC西大井日本語サークルは、西大井（JR横須賀線）駅前のメイプルセンターで週二回（月・木

の午前中）活動している会です。学習者も支援者も主婦がほとんどで、家族的な雰囲気の中、なごやかに楽しく、しっかり勉強しています。その時々によって、人数の増減はありますが、4~5グループに分かれて、少人数で勉強するというやり方です。学習者の出身国はフィリピンが最も多く、その他、アメリカ、マレーシアなど様々な国から来ています。何年も続けている人も多く、いったん離れて、またやって来るといった人もおり、文字通り“ファミリー”な雰囲気の教室です。私たちはとても小さなグループですが、日本語学習を通して、お互いの文化を知りあったり、日本で生活するうえで生じる様々な問題を話しあったり、一人一人顔の見える関係を築くことを目指しています。

学習の他に、遠足やパーティーがあります。年末恒例のパーティーは、それぞれが得意料理を持ち寄って（ナント、電気炊飯器を持ってきて、ごはんを炊いて提供してくれた人もいます）日ごろ見せない“特技”を披露するなど、とても楽しいイベントとなっています。

これからも、会員相互の親睦を深めるとともに、他のグループとのネットワークを広げ、少しでも広い視野で活動していきたいと思っています。

## モットーは 楽しみながら勉強しよう

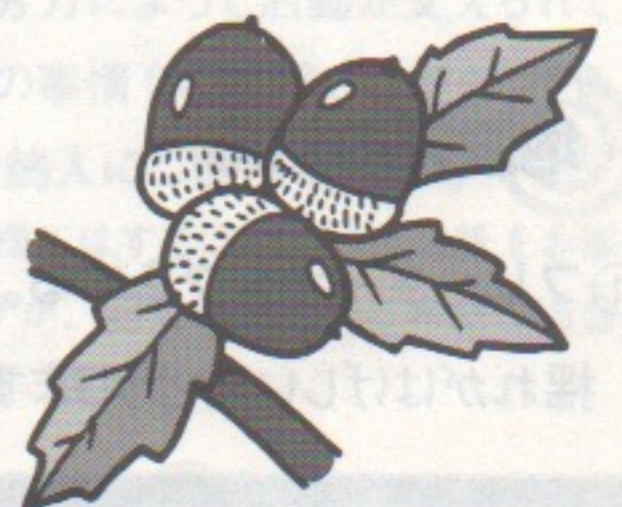
### 渋谷日本語グループ

藤田 道雄 (渋谷区)

私たちの教室は初心者だけで、初級、中級、上級の3クラスです。授業は毎週土曜日10時から12時まで。生徒は15名程で、先生は6、7名、毎週各クラスを1時間担当します。生徒はアメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、フィリピンなどからで、様々です。生徒も先生も皆働いていますので、土曜日がいいわけです。教科書はFirst Lessons In Japanese 入門編、同発展編、Sounding Natural In Japanese です。授業はできるだけ会話ができるようになることを目指し、絵や実物などをたくさん使うこと、簡単なロールプレイ形式で練習させることなど、楽しく学べるように心掛けています。各クラスの担当責任者は教案を作りますが、これがウデのみせどころです。その場合やはり小グループレッスンが適切だと感じます。

授業の他3カ月に1度程行事の日を作っています。今まで陶芸教室、歌舞伎観劇、鎌倉ハイキング、登戸の民家園見学などを行いましたが、この6月には、水元公園（はなしょうぶ）、柴又帝釈天、矢切の渡しを巡回しました。何しろ皆遊び好きで、歓迎会、送別会、カラオケ会などしばしばで、いつもレッスンの後は昼食に行って、おしゃべりです。

特報があります。このグループの元生徒、英国娘と米国海軍士官が結婚することになり、この11月に英国で結婚式をします。私ともう一人の先生が参加します。



## 東京と仙台

フアントニ・ダヴィデ / イタリア (東京大学研究生)

いので、特殊な目で見られないのでリラックスした生活がおくれるからだと思います。たとえば仙台にいたときは、納豆を食べると不思議？箸をつかうとすごい？狭い町だから外国人のすることに興味があったのか、わからないけど、いつも見られている気がした。「その外人さん」などと呼ばれたりもした。確かに外国人だけど、日本で生活しているのだから、人種をこえた人間同士の交流がしたいです。

イタリアでは朝、コーヒーショップで顔を合わせたり、電車で近くにいる人同士、話しかけたりしますが、日本人は多くの人知らない人と席が隣になっても話をしないので、もっと気楽に挨拶くらいしてもいいと思います。

今、大学で中上健次と部落民について研究しています。彼の日本語は、一般的には悪い日本語と言われるが、部落民の差別問題を文学的に表現してるので好きです。

学生のときは東京で、結婚したら仙台に住みたいですね。

私はイタリア、フィレンツェ大学で日本文学を学び、1999年11月に初めて日本に来ました。フィレンツェには日本人がとても多く住んでいて、大学にも日本人が多く、とても日本に興味を持ちました。

仙台の語学学校で、イタリア語の教師を募集していると、友人が知らせてくれ、すぐに応募。来日して1年間、仙台で生活しました。仙台は山や海に囲まれ、空気、食べ物もおいしいし、人は親切で快適な生活でした。しかし自分のなかで何か物足りなさを感じ、それが何かわからないけど、苦痛になってきました。それで仕事をやめて、イタリアに帰りました。

自分のしたいことを考え、心身をリフレッシュさせ、2001年4月再来日しました。東京は仙台と比べると空気は汚いし、人も多く、住むところではないような気がします。でも、なぜか毎日が楽しく、満足感があります。

それはきっと東京は仙台より情報も多く、いろいろな文化に触れることもでき、外国人も多

## 日本の生活

橋本バンジエリ / フィリピン (ともだち / 足立区)

私の子供は二人です。幼稚園と小学校に行ってる女の子です。日曜日は梅島梅田教会でいのりのみさをします。帰えたら、子供の服をアイロン掛けして、持ってゆく物はぜんぶ見て、しゅくだいもチェックします。月曜日は早く朝食を食べて、8時ちょうどに小学校に行きます。次は幼稚園のバスが9時17分に出ます。

私は綾瀬日本語教室へ漢字の勉強に行きます。大変だけど挑戦しています。私は色々忙しいです。私の毎日の主な仕事は、子供に色々

教える事がたくさんあります。妹と姉はかけざんと、こくごのしゅくだいをします。私の漢字の勉強のほうが、もっと大変です。小学校と幼稚園の保護者会行って来ました。日本の生活を色々勉強して、頑張ります。



## どのようなニーズにも対応

田中康子 / グループWA (足立区)

グループWAでは、水曜日の午後は小中学生から一般の学習者を、土・日曜日の午後は企業から派遣されたIT技術者や留学生などを対象に活動を行っています。とくに学習者のどのようなニーズにも応えられるよう、ボランティアメンバーをそろえることに努力しています。

日本語能力試験1級を目指す就学生グループ、簿記・会計や自動車整備専門学校生など、なかには薬剤師や漢方医学の先生もおられ、ボランティアとしてもそれなりの対応力や力量が試される場所です。

学習者のどのようなニーズにも応えられること、これが私たちグループWAに課せられた使命であると認識も新たにがんばっています。

「先生、合格しました」

弾んだ声が電話の向こうから飛びこんできました。

天津から来日して一年有余、T大別科へ通いながら日曜教室にいつも顔を見せていたRさんです。うれしいことに今年もRさんを含めて3人が国立大学に合格しました。これこそほんとうにボランティア冥利に尽きるというもの。とくに、物心両面からこの人たちを支えてきたKさんには、頭が下がる思いです。

北京大学出身のKさんは、中・高、大学と一貫して日本語を専攻、日本語研修国費留学生として来日（現在、東大博士課程に在籍）。グループWAで誕生した最初の外国人ボランティアです。

# 東京YWCA「留学生の母親運動」事務局

Tokyo Young Women's Christian Association

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8 TEL: 03-3293-5421 FAX: 03-3293-5570

ホームページ: <http://www.tokyo.ywca.or.jp> E-MAIL: [ryugakusei@tokyo.ywca.or.jp](mailto:ryugakusei@tokyo.ywca.or.jp)

## 日本での留学生生活を、 家族的な交流でサポート

YWCAは1855年に誕生。世界YWCA本部をスイスのジュネーブにおき、世界94カ国/地域で活動している女性の国際団体です。キリスト教の精神に基づいて始められた活動で、平和を願う人なら宗教・民族等にかかわらず誰でも参加できます。日本にYWCAができたのは1905年。現在、全国26市に拠点があります。

今回はそのなかのひとつである東京YWCA会館をお訪ねして、私たち日本語ボランティアともかかわりのある「留学生の母親」運動についてお聞きしてみました。

### 【東京YWCA 「留学生の母親」運動とは？】

ボランティア日本語教室でも留学生の姿は数多く見られますが、母国を離れ日本で勉学に励む留学生たちはさまざまな不安や不便をかかえていることも多いと思います。そんな留学生たちの「日本でのお母さん」となり、家族のような交流でその生活をサポートする活動をしているのが「留学生の母親」運動です。

ここで言う「母親」とは子をもつ母親という意味ではなく「いつでも受けとめる人」のことであり、「留学生」には大学生や専門学校生だけでなく進学を予定している日本語学校生も含まれます。日本での留学生生活が実りあることを願い、幅広い活動で交流し、互いに国際理解を深めることを目的としています。

この運動は、1961年1人の母親と1人の留学生の交流からスタート。当時は在日留学生のおか



写真右から  
留学生相談室室長/小沢さん 留学生の母親の運動委員長/梅本さん  
留学生の母親の運動会員/依田さん

れている状況や受け入れ体制にも不備が多かったことから、なにかできることはないかと東京YWCAの会員活動として続けられることになったそうです。

### 【現在の活動内容は？】

以来40年、日本の受け入れ体制や世界情勢も変化するなか、さまざまな問題に直面して活動範囲も拡大。現在までにアジアを中心に約50カ国、3000人近くの留学生と次のような活動で家庭的な交流をしてきました。

#### ◆留学生と母親の組み合わせ

「運動」に入りたい人は、毎年2～3月に開催される説明会に出席し、そこで入会手続きを行って会員となります。今年は124人の留学生と母親との組み合わせができました。留学生と母親の組み合わせ決定後は、自由に交流を楽しんでいます。

#### ◆留学生相談室

この相談室は1990年に設置され、ボランティア相談員が進学・在留手続き・生活関連等の相談に対応。宿舎・アルバイトなどの資料・情報もそろえ、短期ホームステイなどの受付もしています。

保証人については、学校保証人の場合は学校と保証内容を交渉して「連絡人」として保証を引き受けたりすることもあるそうです。住まいに関する保証人については、内外学生センターが実施している「留学生住宅総合補償制度」を紹介することも多いとのこと。近年は、日本語学習の希望が増加したことから、新たに「日本語支援プログラム」も立ちあげました。

#### ◆奨学金

勉学に意欲的で経済的に困窮している留学生が目的を達成できるようサポートするために、1982年には奨学金制度もスタート。大学学部または短大・専門学校1～2年在籍者を対象として、毎年、奨学生を募集・審査・決定しています。

#### ◆留学生資金

留学生が病気・災害などの不慮のできごとのために経済的な困難に陥った場合に、資金を貸与しています。財源は「留学生の母親」運動に対して寄せられた寄付で、本国からの送金が遅れて学費の納入が間に合わないときなどに短期での貸し出しも行っています。

#### ◆留学生談話室

毎週土曜日午後1時半～5時まで、留学生と日本人の自由なおしゃべりの場として開設され、日本語補習教室も併設。留学生同士が交流したり、日本語の練習をする機会となっています。3時に

はお茶とお菓子のティータイムもあって、気軽に参加できる楽しいひとときとなっているようです。

#### ◆資料集などの出版

「留学生は訴える」など、活動に関する資料の編集・出版もおこなっています。

### 【今後の活動とその課題

40年に近い「留学生の母親運動」の歴史のなかで、これからも大切にしていきたいもの、時代の変化に伴って変えていくものを見極めながら、問題点については行政等に訴えながら、その経緯を見守っていきたい、とのこと。留学生の宿舎の整備、就学生への支援、大学改革など、今後、着実に進めていかなければならない課題も多く、「そのためにも、現在の地道な努力が身を結ぶと信じて、活動を継続していきたい」と意欲を語ってくださいました。

忙しいなかでの活動の充実など、どこの団体も直面するような問題もかかえているようですが、これからも留学生と母親ということではなく、一人とひとりの人間として向き合い、信頼し合うことの大切さを、より多くの人々に理解してもらい、参加を呼びかけていきたい、とのことでした。

活動を続けてよかったことは「視野が広がり、そのなかから日本という国が見えてくる」「同じ目的をもつ仲間と作りあげる喜び」「自分自身が人間として向上できることの喜び」などとお聞きして、ここにも私たち日本語ボランティアと同じ気持ちで活動をされている方々がいることがわかり、励みになりました。

## つまらないものですが

日本大学助教授

福田知行

日本語の敬語あるいは敬意表現・行動には他の言語にはない特異なものがあるとよく言われますが、ただ、これが本当かどうか見てみましょう。

まず、日本語の教科書などにも出ていますが、贈答品を差し上げるときに使う「つまらないものですが」という常套句があります。この表現に対して「つまらないもの」をどうしてくれるのか、と「文句」を言う外国の人がいますが、日本人ならもちろん本当につまらないものをあげるのではないということを知っています。ただ、現在ではこうした表現をあまり使わなくなってきているようです。

また、食事に招待したホストがゲストに対して「何もありませんが」ということもあります。それに対しても「何もなかったら食べられないではないか」ということを言う人もいます。もちろん、これも「(あなたの口に合う食べ物は)何もありませんが」という意味だということは普通の日本人ならわかることです。

この二つの例はいわゆる「謙遜」というもので、自分が差し上げる、あるいは提供するものを卑下するわけですが、では、なぜそうするのでしょうか。実はこうした表現は日本語以外にもあります。たとえば、韓国語では「つまらないものですが」の代わりに“좋은 것은 아니지만 저의 성의입니다.”(あまりいいものではありませんが、私の誠意です)と言いますし、ドイツ語でも“Das ist zwar nur eine Kleinigkeit, aber bitte.”(これは小さなものですが、どうぞ)と言います。つまり、謙

遜というのは日本語だけの特質ではありません。「謙遜」の基本的な機能というのは、自分に属するものの価値を下げることによって、相手の気持ちの「負担」を少なくしたり、自分の「優位性」を下げたりして、相手の緊張をほぐして会話を進めていくことなのです。

さらに、何かをもらったり、してもらったときに「ありがとう(ございます)」と言う代わりに日本人はどうして「どうもすみません」と謝るのか、外国の人には本当に不思議に見えるらしいのです。この問題を考えるときに思い出してほしいのは、このような場合に「子供」は決して「すみません」とは言わないことです。もし、子供がものをもらって「どうもすみません」と言ったら、その子はかなりマセていると言わざるを得ません。この「すみません」の用法は相手のことを思いやるという社会性を身につけた大人だからできることなのです。つまり、「あなたがこのようなものをくれる(このようなことをしてくれる)には、いろいろご苦労やご心配をおかけしたと思います。そのようなことをさせたことに対して私はあなたに謝りたい」という意味なのです。

結局、日本語は常に相手に対する「配慮」や「思いやり」を表明することが期待されているわけなのですが、人々の考え方が変わりつつある今日では、こうした日本人の態度が過度の「おもねり」と考える人も出てきたのでしょう。もちろん、外国の人の意見や「文句」の影響もあると思いますが、

TNVN日本語学習支援研究会の林川さんが、日本語ボランティアのために日本語入門用の教材「数字による日本語入門—はじめましょう 1、2、3」(A4版・全30ページ、定価¥800・送料別途)を作成しました。(本教材の制作費用の一部には横川グループ福祉センター寄付金を充てているため、TNVN会員には特別価格¥500・送料別途となります)

この教材の特徴は、①コピーしやすい、②初めての人も楽しく学習できるようイラストとゲームを取り入れている、③4～

コピーして使える  
日本語ボランティアの本

8回で、ローマ字(または、ひらがな)と数字が読めるようになり、知っていると便利なものの名前、簡単な言い回しを覚えることができる、④日本語教授法の知識のない人でも、学習者に「学習ページ」をコピーしてわたし「使い方」に従って進めれば無理なく学習支援ができる、

という点にあります。

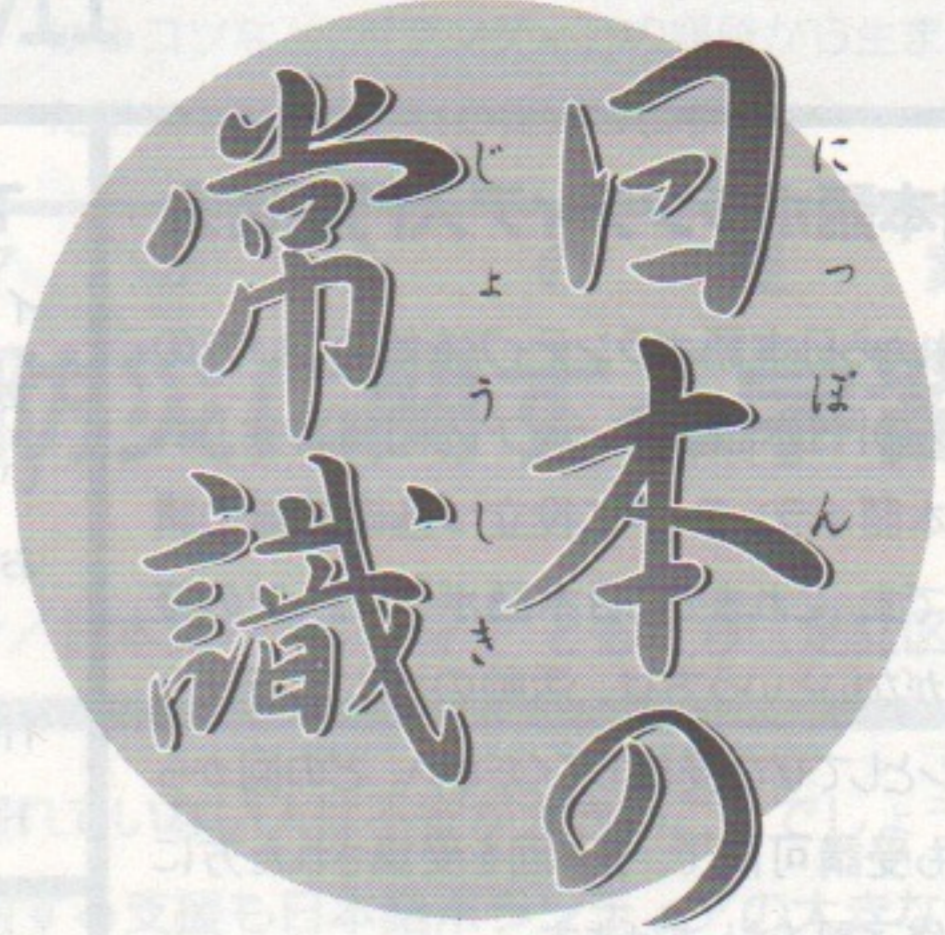
なお、この教材に対するお問合せ・ご注文等は、下記までお願いいたします。

TEL: 03-3235-1171

(呼出/金曜日14:00~19:00のみ)

FAX: 03-3473-5097





◎第16回

110番への電話

日本の犯罪事情

これまで比較的に安全と思われてきた日本ですが、最近では治安上多くの問題を抱えています。しかし、日頃から危険に對する警戒心と備えがあれば、被害を未然に防ぶことが出来るのです。

ハイテク化する犯罪

IT技術の普及によって、インターネットやパソコン通信・携帯電話などを利用した新しいタイプの犯罪が増加。「出会い系サイト」をきっかけに殺人事件にまで発展するケースも出てきました。

凶悪化する少年犯罪

暴走族同士の殺人事件・薬物乱用・家庭内暴力など、最近の少年非行は凶悪・粗暴化の傾向を強めています。昨年1年間に殺人や強盗・恐喝などで検挙・補導された少年は2,163人にのぼり、この10年間で最悪となっています。

増える国際組織犯罪

日本への外国人入国者数が年間500万人を超えるなか、強盗や覚せい剤密売・スリ・カード偽造・ピッキングによる侵入窃盗など、外国人による犯罪も増加。昨年の外国人

犯罪の検挙数は約8000件で、前年と比較して約8%増加しています。

交通事故その他

昨年の都内における交通事故による死者数は413人で、1995年以来5年ぶりに400人を超えました。

緊急時、事件や事故には110番

—こんなとき迷わず110番—

- \* 盗難などの被害にあったとき
- \* 押し売りなどで困ったとき
- \* けんか・交通事故などにあつたとき、見たとき
- \* 不審な人を見たとき
- \* 倒れている人を見たとき
- \* 暴走族が走り回っているのを見たとき
- \* 迷子や家出人を見たり保護したとき
- \* 爆発音など不審な物音を聞いたとき
- \* 人の悲鳴などを聞いたとき

- \* 人が連れ去られそうになったり、連れ去られるのを見たとき
- \* 不審な車が駐車しているのを見たとき

110番への電話のかけ方

日本語ができなくても大丈夫。通訳もいるので、落ち着いて次のポイントを話しましょう。  
(都内の場合、対応言語は英語・中国語・ハングル・タイ語・スペイン語・ペルシャ語・タガログ語・ウルドゥー語。英語・中国語は毎日、その他の言語の対応は曜日・時間帯によって違います)

- 1、なにが起こったのか？
- 2、いつ、どこで？
- 3、容疑者がまだ現場周辺にいるか、いないのか？ 人相・服装・逃げた方向など。
- 4、なぜその犯罪、または事故が起きたのか？
- 5、あなたの名前・電話・住所など。

# NETWORK INFORMATION

## 日本語ボランティア入門講習会

これから日本語ボランティアを始めたい方のための「日本語ボランティア入門講習会」は、日本語ボランティアに役立つ基礎知識の講座です。これまでに日本語ボランティアの経験がないという方は、活動のオリエンテーションとしてぜひ受講してください。どの回からでも受講可能で、全4回を受講された方には修了証をさしあげます。

### ◆日時

10月12日(金)	午後2:00～4:00
10月26日(金)	午後6:00～8:00
11月9日(金)	午後2:00～4:00
11月30日(金)	午後6:00～8:00
12月14日(金)	午後2:00～4:00
12月21日(金)	午後6:00～8:00
1月11日(金)	午後2:00～4:00
1月25日(金)	午後6:00～8:00

### ◆テーマ

- (10月) 日本語学習をどのように支援するか?
- (11月) 日本語ボランティアとは?
- (12月) 日本語再発見
- (1月) 学習者はどのような人たちか?

### ◆会場

東京ボランティア・市民活動センター 会議室  
飯田橋 セントラルプラザ 10階  
(JR・地下鉄 飯田橋駅下車 徒歩1分)  
※都合によりフロアが変更になる場合には、掲示板等でご案内します。

### ◆参加費

1回 600円 (TNVN会員は300円)

### ◆参加申込み

直接、会場へおこしてください。

## TNVNの活動情報へ パソコンでアクセス!

インターネットのTNVN活動情報にアクセスして、日頃の活動にお役立てください。また、TNVNへの要望や意見などもお待ちしております。

### <TNVNホームページ>

TNVNの講習会など活動情報や教室ガイドの情報も掲載しています。

◆URL: <http://www.t3.rim.or.jp/~tnvn/>

◆MAIL ID: [tnvn@t3.rim.or.jp](mailto:tnvn@t3.rim.or.jp)

※なお、上記のホームページにボランティア募集やイベント参加者募集などの情報掲載をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

## TNVNへの入会を希望する方は…

TNVNの会員として入会を希望される方は、まずTNVN事務局までTNVN活動・入会案内を請求してください。(活動・入会案内のみを希望する場合は送料として80円切手、ニュースレターと活動・入会案内の場合は90円切手を同封の上、郵便にてお申し込みください)

TNVNの会員は、日本語ボランティア活動をしている団体が正会員、日本語ボランティア活動に関心のある個人が協力会員となります。入会される場合は、申し込み用紙に必要事項を記入してTNVN事務局まで郵送またはFAXし、あわせて会費をお振り込みください。

会員の方には毎回TNVNニュースレター等を郵送するほか、TNVN主催の講習会等へ会員価格で参加できます。

◆会費/正会員 年会費 3,000円

協力会員 年会費 2,000円

### ◆会費払込み先

郵便振替口座番号 00100-1-719259

(通信欄に「年会費」と記入)

## 日本語ボランティア相談

日本語ボランティア相談窓口では、日本語ボランティアに関するご相談・ご質問にTNVNのベテランスタッフがおこたえします。お気軽にご利用ください。

◆日時/毎週金曜日 午後2～7時

◆会場/東京ボランティア・市民活動センター

◆電話でご確認の上、おこしてください。

TEL: 03-3235-1171 (呼出し)

## 連絡先の変更等は、郵便かFAXで

団体の代表や連絡先(TNVNからの郵便物の宛先)が変更になった場合、正会員(団体)や協力会員(個人)の方で住所変更のあった場合、また団体の代表の連絡先などが変更になった場合は、TNVN事務局まで郵便やFAXでお知らせください。

また、TNVNを退会される場合も書面にて通知していただくようお願いいたします。

## 年会費の納入はお済みですか?

今年度の活動も後半となりましたが、会員の皆様は今年度の会費納入はお済みでしょうか。

TNVNは日本語ボランティア団体の民間のネットワークとして、自治体等からの援助もなく、会員よりの会費収入とボランティアスタッフの労力によって活動が支えられています。その事情をご理解いただき、すみやかな会費納入にご協力ください。

\*会員の皆様にはすでに振り込み用紙をお送りしていますが、紛失等で再度ご希望の場合は事務局までご連絡ください。

## TNVN宛て郵便物にはメールボックスナンバーのご記入を!

TNVN事務局は、毎週金曜日午後2～7時まで、東京ボランティア・市民活動センターで活動しています。

TNVNへのご連絡・お問い合わせ等は、なるべく郵便かFAXをお願いします。なお、TNVN宛ての郵便物・FAXには、右記のメールボックスナンバーのご記入をお願いいたします。

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・市民活動センター 気付

メールボックス No. 4

TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク

TEL: 03-3235-1171 (呼出し/金曜日午後のみ)

FAX: 03-3235-0050

## 外国語対応の診療を実施中

国立国際医療センターでは、外来の表示は和英併記となっているほか、自動再来受付機も英語が使用可能です。6ヶ国対応の自動問診機もセンター内に3台設置、電話交換台にも英語の話せる職員を配置。また各診療科には、外国語対応マニュアルが置かれており、英語等の外国語ができる職員も多くいます。

### ◆外来受付時間

月曜日～金曜日 8:30～11:00

### ◆受付場所／②番窓口（初診の場合）

### ◆必要なもの

①保険証・公費医療証 ②他院からの紹介状（診療情報提供書） ③他院での検査データ、X線フィルムなど

### ◆交通

①若松河田駅(都営地下鉄大江戸線)から徒歩5分

②大久保駅・新大久保駅から都営バス「新橋駅」行き、市ヶ谷駅・新橋駅・霞ヶ関駅から都営バス「大久保駅」行き、新橋駅から都営バス「東京女子医大」行きで、「国立国際医療センター前」バス停下車

③早稲田駅(営団地下鉄東西線)から徒歩15分

### ◆お問い合わせ

TEL: 03-3203-7181(代)

同センター医事課

## 第18回東京YWCA 留学生日本語弁論大会

### ◆日時

10月27日(土) 午後2:00～6:00

### ◆会場

東京YWCA会館

(東京都千代田区神田駿河台)

### ◆主催

東京YWCA「留学生の母親」運動

## めぐろ国際ボランティア・ つながりすと学習会

「多文化共生社会をめざして～サラダボールのなかをのぞいてみれば」

多文化共生・異文化理解・外国人相談・教育・日本語ボランティア等の現場から学ぶ研修会。どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

### ◆日時

◎土曜ナイトセミナー

9月29日(土)～10月27日(土) 午後6時半～8時半

◎月曜ナイトセミナー

11月5日(月)～12月3日(月)

◎金曜午前保育つきセミナー

1月11日(金)～2月8日(金)

### ◆会場／緑が丘文化会館

(東急東横線自由が丘駅徒歩約8分)

### ◆参加費

¥2,000(全5回)、¥500(各回)

### ◆定員／50名(先着順)

### ◆主催／緑ヶ丘日本語チャット

### ◆問い合わせ・申し込み

TEL/FAX: 03-3723-1442(森岡)

E-mail: minichat@sp.catv.ne.jp

## ボランティア国際交流講座

大学教授や日本語ボランティア経験者などを講師に、国際交流ボランティアのあり方を考える講座。講座終了後には希望者を対象に留学生との交流体験も実施。

### ◆日時／10月13日～12月1日の土曜日

(11月3日・24日を除く) 13時半～16時

### ◆会場／東京YWCA会館

(千代田区神田駿河台)

### ◆受講料／全6回5,000円(他にテキスト代)

### ◆定員／40名

### ◆申し込み／所定の用紙に記入の上、郵送かFAXで申し込み

### ◆問い合わせ／東京YWCA同講座担当

TEL: 03-3293-5421

FAX: 03-3293-5570

## 定住インドシナ難民とのつどい

ベトナム・ラオス・カンボジアの歌と踊りでインドシナ情緒あふれるひとときをお楽しみください。

### ◆日時／10月28日(日)

午後1時30分～4時30分

### ◆会場／品川区立総合区民会館

“きゅりあん”大ホール

(JR・東急大井町線大井町駅前)

### ◆プログラム

武蔵野中学校・高等学校マーチングバンド

バラエティーエンターテイメント

「GOTHICKS」

定住難民による民族舞踊・歌

### ◆参加費／入場無料

### ◆主催／(財)アジア福祉教育財団

## ワークショップ「『共育』21世紀の 日本語ボランティアネットワークを 求めて！」

地域における日本語「共育」、互いに顔の見える関係で育む多文化交流、日本語学習を通じて発見する私たち日本人の姿など、現場で感じる思いや経験を共有し、それぞれの方向性を探る1歩をみつけるためのワークショップ。

### ◆日時／11月18日(日) 午前9:30～12:30

### ◆会場／スイングビル10階 スカイルーム1・2

(JR中央線武蔵境駅北口前)

### ◆プログラム

報告：野山広氏(文化庁日本語教育調査官)

◎文化庁における地域日本語教育施策について

「地域の日本語教室に通う在住外国人の日本語に対する意識等」を中心として

### ◆参加費／無料

(直接会場におこしてください)

### ◆主催／TAMA日本語共育ネットワーク

# BULLETIN BOARD

# 事務局 DIARY

TNVN事務局が毎週金曜日午後2時から7時まで開かれています。スタッフ・役員・運営委員が集まると活動についての情報や意見交換、それに雑談、賑やかです。事務局の担当者・スタッフは事務局に直接来られる方や電話・FAXや手紙によるボランティアに関する問い合わせ・相談に対応しています。

ニュースレター32号でTNVNのホームページについて紹介しています。最近ホームページへのアクセスが非常に増え、さらにE-MAILで「ボランティアをしたいのですが私でもできますか」「活動場所を紹介してください」「日本語を勉強したいのですが、ボランティア教室を教えてください」etc.数多くの問い合わせがあります。直接担当者からご返事をメールで行って

います。日本語ボランティアへの期待・希望・関心が非常に高いことが分かります。国立国語研究所では「日本語教育支援総合ネットワーク」が構築され会員には情報・素材をボランティアも活用できるようになりました。まさにIT時代で、これからの方向を示唆しています。

TNVNは設立以来8年、日本語ボランティア活動へのお手伝いをしてきました。多くの外国人が日本を訪れ、日本語の壁にチャレンジしボランティア教室を訪ねる方々が非常に多い。こうした中でボランティアと学習者とを繋ぐ情報発信場所としてTNVNがどうあったらよいのか検討を重ねています。皆さんからのご意見をお待ちしています。

梶村 勝利/TNVN副代表

## 地域の日本語ボランティア事情

### 小平市発

現在、小平市内で国際交流に関わる活動をしている団体は、私の知る範囲では小平市国際交流協会と私たち定住外国人支援ネットワークのみです。小平市国際交流協会は1990年に設立され、国際フェスティバルをはじめ、外国語教室・日本語教室・世界の料理紹介・文化紹介・ニュースレターの発行・外国人相談等、もりだくさんの活動を行っています。

日本語教室は、月曜クラス(10:00~11:30)、土曜クラス(10:10~12:10)、さらに9月からは夜間クラス(金曜19:00~20:45)も開設されました。それぞれのクラスは初級・中級・上級と学習者のレベルに合わせて6~7グループに分かれています。1グループは最高5名程度で、学習者のレベルや事情に合わせて個人レッスンもあります。学習者の参加費は1回300円、学習支援ボランティアには活動費として1回につき1000円が支払われます。

テキストは新文化初級(月曜クラス)、初級日本語(土曜クラス)を使用。(金曜クラスは未定)

定住外国人支援ネットワークでは、主として外国人相談を行っています。1992年に小平市在住の主婦3人で設立した「グループミスト」がその前身ですが、当時のメンバーが転居等でいなくなったため、現在は名称も改めて活動しています。相談内容はビザの件を別にすれば、日本人のケースと同様と思われます。最近の成功例では、254万円もの未払い賃金の支払いを会社に求めたケースもあり、今は不動産取得等の相談にもなっています。

現在は、小平市内の一橋大学分校跡に留学生会館も建設されているので、今後は2団体とも忙しくなりそうです。

山崎アレン美智子  
(定住外国人支援ネットワーク)

## SPECIAL THANKS

★東京YWCA「留学生の母親」運動事務局  
快く取材に応じていただきました。

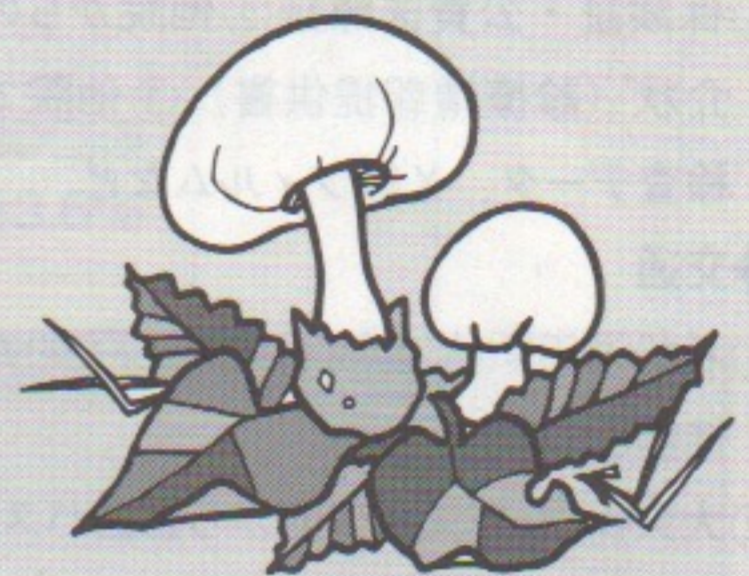
## WELCOME! 新入会員のご紹介

### ◆協力会員(個人)

高野 理恵、村田 史子、伊藤 礼子

(敬称略)

※2001年9月25日現在の会員数は、正会員67団体、協力会員90名、賛助会員8です。



## 編集後記

●あらためて言うまでもないことですが、TNVNは日本語ボランティア団体のゆるやかなネットワークです。この「ゆるやかな」というのは、会員を義務等で拘束しないという意味で、ルールがないということではありません。TNVN会員や事務局スタッフには各地から立場を異にするさまざまな人々が参加しています。だからこそ、一定のルールでTNVNの名前が一人歩きをすることがないように自己規制する必要があるのではないのでしょうか。



レイアウト/鶴田 環恵

編集/上野 悦子、大久保 澄子、  
甲斐 武子、梶村 勝利、木村 茂、  
床呂 英一、林川 玲子、  
前田 恭子、山縣 みつる